

始業式あいさつ

令和6年4月8日

校長 豊岡 耕一郎

皆さんおはようございます。

久しぶりにというより私にとって初めての中庭の桜が満開の中での始業式、今日から新しい年度が始まり、使用する教室が変わります。明日には新入生も入学してきます。この新しい年度を迎えるにあたって皆さん、やる気に満ち溢れてワクワクしていますか？私ももう1年間、この雪谷高校に関わることができることをうれしく思うと同時に、皆さんが今年はどうのような活躍をしてくれるのかと、期待に胸を膨らませています。ところで、去年の2学期末にお話しした雪谷高校のあるべき姿について考えてくれたでしょうか？皆さんも知っている通り、私学授業料無償化や少子化の影響で、本校を志望してくれる生徒も減少傾向にあります。雪谷高校が今後も選ばれる学校であり続けるためには、そのことを皆さん一人一人が考えて行動する必要があります。私が考える雪谷高校の売りは、何といたってもここにいる皆さん自身です。勉強にも部活動にも学校行事にも、一生懸命仲間と共に取り組むことで成長しようとしている皆さんがいることこそが、雪谷の未来につながっていると信じています。よろしくをお願いします。

さて、先日硬式野球部の春季本大会を観戦してきました。ここ数年は本選には出場するも、初戦敗退が続いていたのですが3回戦まで進み、夏のシードをかけて早稲田実業と対戦しました。結果はコールド負けでしたが、夏での活躍が十分期待できる内容であったと思います。また、一緒に応援してくれたチア部や吹奏楽部の皆さんもお疲れ様でした。仲間を一生懸命応援してくれる姿や校歌を歌っている姿は、嬉しくほほえましく感じました。夏にはさらに多くの皆さんと声援を送りたいものです。こん

なことを言うと野球部を特別扱いしているかのように捉えられるかもしれませんがそうではありません。サッカーでもバレーでもバスケットでも構わないのです。部活動の垣根を越えてお互いを応援し、切磋琢磨する雰囲気を作っていただきたいと思っています。多くの部活動がこの5月のインターハイ予選で引退を迎えると思いますので、時間を作ってそれぞれ応援しに行きましょう。ただし、そうやって皆で応援しようという雰囲気が自然と生まれるためには、そのチームが皆から応援される資格があるかどうかが重要なことです。高い目標に向かって懸命に努力しようとする集団であることはもちろん、学校生活全般における取り組み姿勢や、周りの人々への感謝の気持ちなどを忘れてはなりません。今年もできうる限りいろいろな部活の大会を自転車に乗って拝見しに行きたいと考えておりますので、最高の成果が発揮できるよう日々の鍛練に努めてください。

最後に、皆さんの心と体のケアについてお話しします。多くの皆さんは、いたるところで笑い声が聞こえるなど、明るく元気よく学校生活を送ってくれており、こちらとしても安心していきます。その一方で、心のバランスを崩して苦しんでいる生徒も少なからずいることも聞いております。悩みや不安がある場合は、自分一人で抱え込まずに、まず担任や養護の先生など信頼のおける大人に相談してください。しかし周囲の大人に相談しにくい、例えば性暴力などの場合は、本日配布されている相談シートや外部の相談機関などを活用してください。私はもちろん本校の先生方は、生徒皆さんの体と心を大切に守りたいと思っています。そのためにも、ぜひ一人で悩まないで、相談することをお願いします。

それでは今年度も雪谷高校が素晴らしい躍進を遂げることを願いつつ、始業式の挨拶を終わります。